

ふすまのメンテナンス

ふすまは、比較的強い紙でできていますが、使っているうちに 破れたり、穴があいたりすることもあります。できたら、自分で直せたらいいですね。

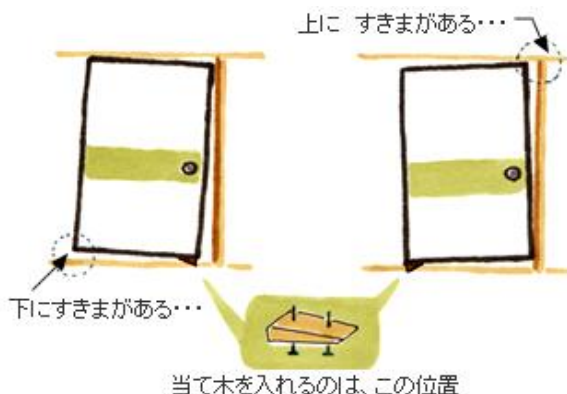
ゆがみの直し方

ふすまがゆがむと、ふすまの枠と柱の間にすき間ができてしまいます。

そんな時は、ふすまの下の枠にくさび形の当て木をあててゆがみを直します。

当て木は、長さ約10cm、幅は敷居の幅の板をすき間に合わせてくさび形に削り、ふすまの下の枠に細いクギをつけて打ちつけます。

すき間が柱の上にできたか、下にできたかによって、当て木を入れる位置が逆になるので気をつけましょう。



組子の直し方

大きな穴があいてしまったときは、組子が折れている場合があります。

- ❖ 一部が折れている場合は、木工用接着剤で接着し、セロハンテープで固定します。
- ❖ 大きく破損している場合は、市販の修正用組子か同じ太さの木材を使って補強します。組子を修理したら、穴のあいた部分に 薄い丈夫な紙で下張りします。下張りは、薄めのノリを使い、ノリづけしてから 2~3分おくと上手に張れます。下張りが乾きかけたら、ふすま紙を張ります。



全面を張り直すのが面倒なら次のような方法もあります。

- ❖ 腰張り用のふすま紙を張る
- ❖ 帯状に別の色のふすま紙を張る
- ❖ ふさいだ紙の周囲にも 同じ紙を張り 模様のように見せる

穴のふさぎ方

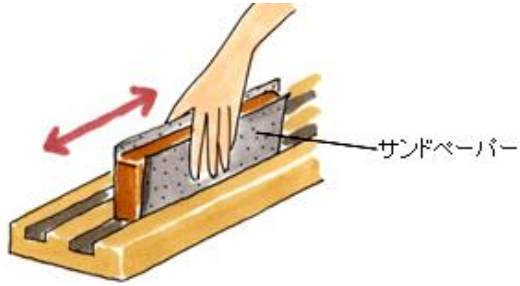
小さい穴で、やぶれたフスマ紙がちぎれていない場合は、やぶれたところをめぐって ハガキくらいの厚さの紙(ケント紙や画用紙など)を差し込むと簡単に補修できます。

- ❖ 紙は、やぶれた部分よりひとまわり大きくカットします。
- ❖ めくれたフスマ紙は、木工用接着剤をうすく溶いたノリを塗って張ります。
- ❖ フスマをはずし、補修した部分に本などをのせてしばらく置くと、きれいにはりつけることができます。



すべりの悪い敷居の直し方

1. まずは、敷居の汚れを落とします。
敷居の幅の木片に50番のサンドペーパーを当て、敷居をこすります。



2. 次に100番で敷居の表面を滑らかに整えます。

3. ロウやワックス、植物油などを塗ります。



★市販の敷居スベリを 貼ってもいいでしょう……。